参考

文部科学省委託事業
放射線に関する教職員研修及び出前授業

主なカリキュラムのご紹介

校内研修の場合、出前授業と教職員研修のセットでの実施が効果的です。

出前授業

主なカリキュラム

A 紙芝居・絵合わせ

紙芝居による説明と、絵のカードを用いた絵合わせのゲーム

対象学年 小1・2

B 情報整理

絵のカードと文字のカードの組み合わせを考えるグループワーク

対象学年 小3～中・高

C 測定実験①（自然放射線測定）

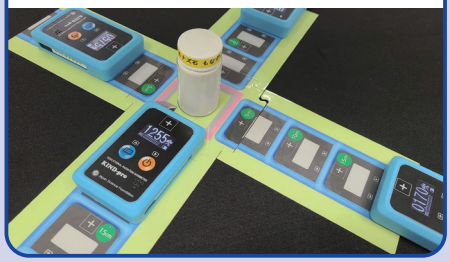
簡易放射線測定器を用いて、校内を探索し自然放射線を測定

対象学年 小3～中・高

D 測定実験②（特性実験）

外部被ばく低減のための三原則の実験

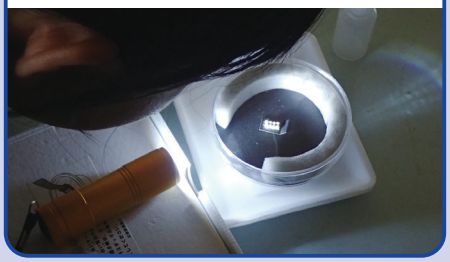
対象学年 中・高



E 霧箱実験①（個人型霧箱）

シャーレを使って個人型霧箱を作成し、放射線の飛跡を観察（半減期実験を含む）

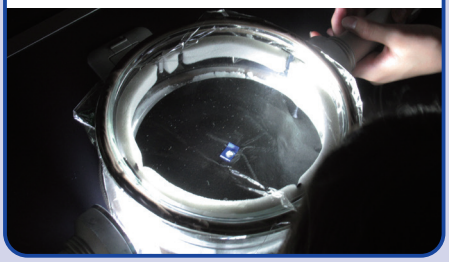
対象学年 小3～中・高



F 霧箱実験②（グループ型霧箱）

直径20cm大の霧箱を用いて、グループで自然放射線の飛跡を観察（半減期実験を含む）

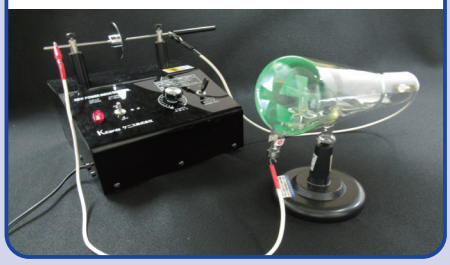
対象学年 中・高



G クルックス管実験

レントゲン博士のX線発見の歴史をひもとき、放射線の性質及び放射線の利用とリスクについて学習

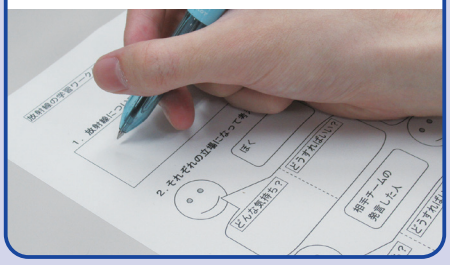
対象学年 中・高



H ケーススタディ

放射線副読本第2章「あのひとことで」を題材としたグループディスカッション

対象学年 小5～中・高



I 原子力発電所の事故と復興のあゆみ

放射線副読本第2章に沿って、被災地の教員等からお話をうかがうオンライン講演

対象学年 小5～中・高

※その他…児童生徒の発達段階やニーズに合わせて相談の上、柔軟にカリキュラムを作成いたします。

文部科学省が作成した「放射線副読本」の内容をもとに授業を実施します。実験や演習が主体のため、原則クラス単位での実施をお願いしています。いずれも1単位時間（45分または50分）での実施が基本となります。対象学年は目安です。ご希望内容、児童生徒の発達段階、予備知識等を踏まえ、オンラインならびに対面で実施いたします。

オンライン / 対面でのお願い

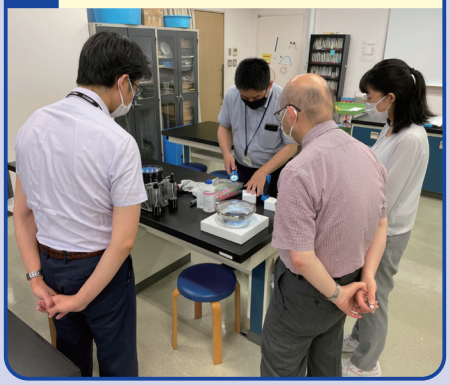
オンライン		● 実験・演習器材の受け取り、会場までの移動、終了後の発送 ● 事前打ち合わせ、会場の確保、児童生徒のタブレット等の手配 ● 実験・演習の準備、授業中のフォロー ● オンライン会議の準備
対　面		● 実験・演習器材の受け取り、会場までの移動、終了後の発送 ● 事前打ち合わせ、会場の確保、児童生徒のタブレット等の手配 ● 授業の監督、またはTT（チームティーチング）

教職員研修

主なカリキュラム

O 放射線副読本の内容

P 実験（霧箱、測定、クルックス管等）紹介



Q 研修用教材（情報カード等）を活用した演習

R グループディスカッション（ケーススタディ）

S 放射線に関する専門知識の習得

T 被災地体験談（オンラインによる質疑応答）

教育委員会、研修センター、教科等研究会主催による研修会等については、大人数での実施も可能です。
放射線副読本の内容を踏まえ、座学と演習（グループワーク）を組み合わせて実施させていただきます。
O～Tの中からご希望内容を選択してください。（複数選択可）

オンライン / 対面でのお願い

オンライン		● 実験・演習器材の受け取り、会場までの移動、終了後の発送 ● 事前打ち合わせ、会場の確保 ● 実験・演習の準備 ● オンライン会議の準備
対　面		● 実験・演習器材の受け取り、会場までの移動、終了後の発送 ● 事前打ち合わせ、会場の確保

申込み・問合せ先

〒102-0091　東京都千代田区北の丸公園2-1　公益財団法人 日本科学技術振興財団　人財育成部
放射線に関する教職員研修及び出前授業事務局　電話：03-3212-8504（代）　FAX：03-3212-8596
e-mail：mext-seminar@jsf.or.jp　URL：http://radi-seminar.jp